



Mercury-ONE ⇔ CIMPHONY Plus連携

Mercury-ONEとCIMPHONY Plus間でデータをアップロード/ダウンロードする操作を説明します。

※はじめての方は、まず「かんたん操作手順書」をお読みいただくことをおすすめします。

※ CIMPHONY Plus連携ツールは2024/3/19版で解説しています。
最新版のインストールはFCアカウントの【プログラムの更新】から行ってください。

目次

1. CIMPHONY Plusへアップロード	1
1-1 《CAD》連携ファイルをアップロードする	1
2. CIMPHONY Plusからダウンロード	7
2-1 《CAD》連携ファイルをダウンロードする	7
2-2 《CAD》写真ファイルをダウンロードする	10
2-3 《メインメニュー》位置情報付き写真をダウンロードする	13
2-4 《各階平面図》写真ファイルをダウンロードする	16
2-5 《電子野帳取込》観測データをダウンロードする	19
2-6 《縦横断測量》《河川定期縦横断測量》 縦断観測データをダウンロードする	21
2-7 《縦横断測量》《河川定期縦横断測量》 横断観測データをダウンロードする	23
2-8 《3次元計測》設計データ（三角網）をダウンロードする	25
3. 注意事項	27
3-1 現場が表示されない場合	27
3-2 プロキシサーバー環境の場合	29
3-3 アクセス制限が設定されているフォルダーの場合	30

1

CIMPHONY Plus へアップロード

弊社アプリケーション間の連携用ファイル（XFDファイル）をCIMPHONY Plusへアップロードする操作を説明します。

※アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

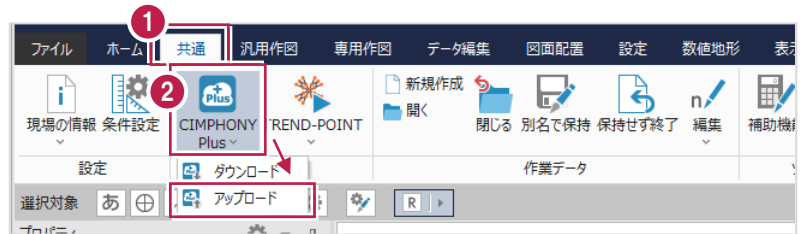
（「参照者」のユーザーはアップロードできません。）

1-1 《CAD》 連携ファイルをアップロードする

図面・観測・リンク（写真・書類）・座標データ（XFDファイル）をCIMPHONY Plusへアップロードします。

① CADで「共通」タブをクリックします。

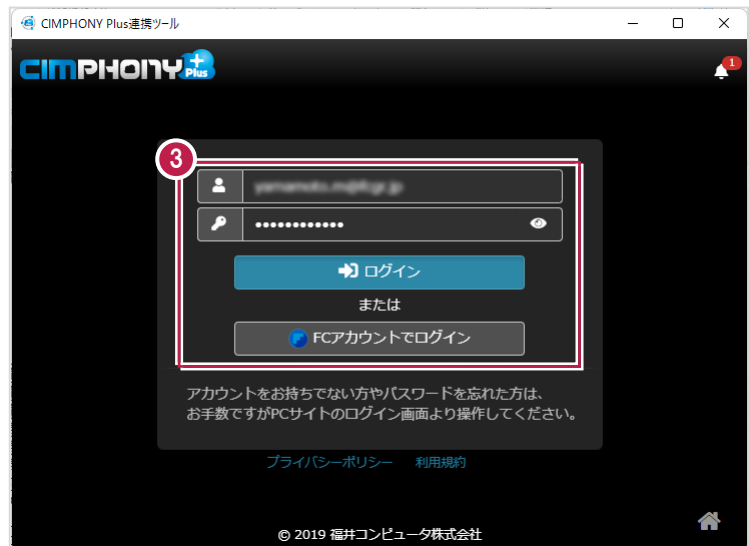
② 「連携」グループの「CIMPHONY Plus」 - 「アップロード」をクリックします。



③ 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

《参照》3-2.プロキシサーバー
環境の場合

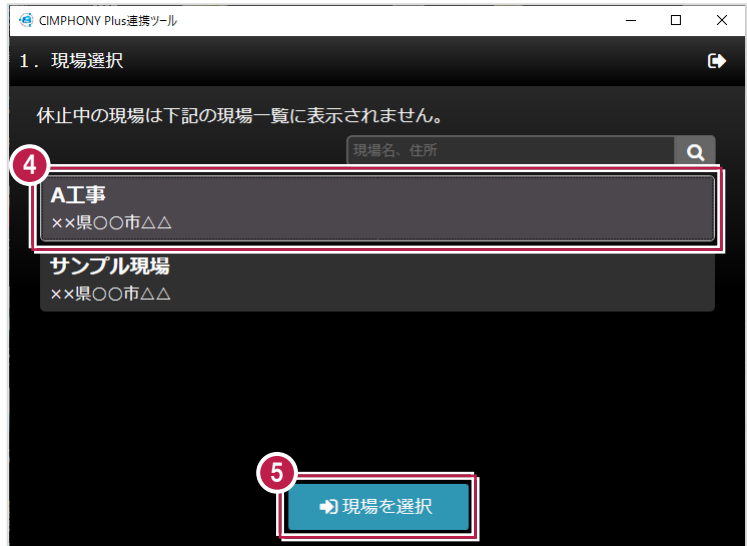


4 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

5 [現場を選択] をクリックします。

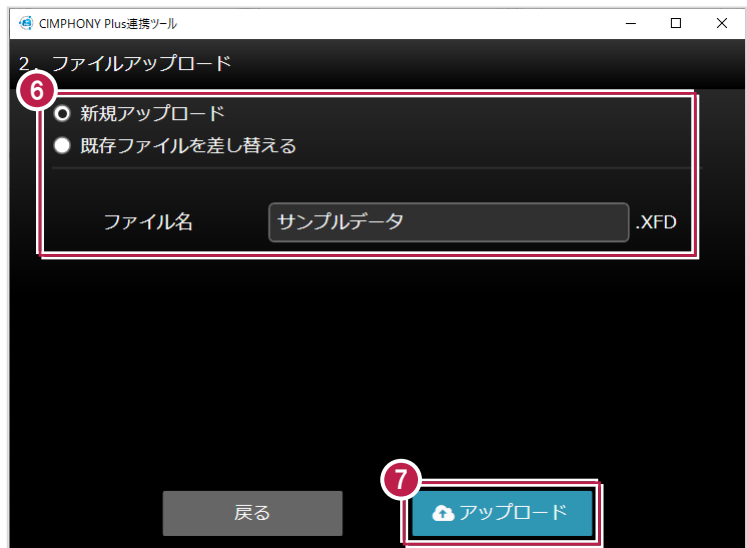
※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。



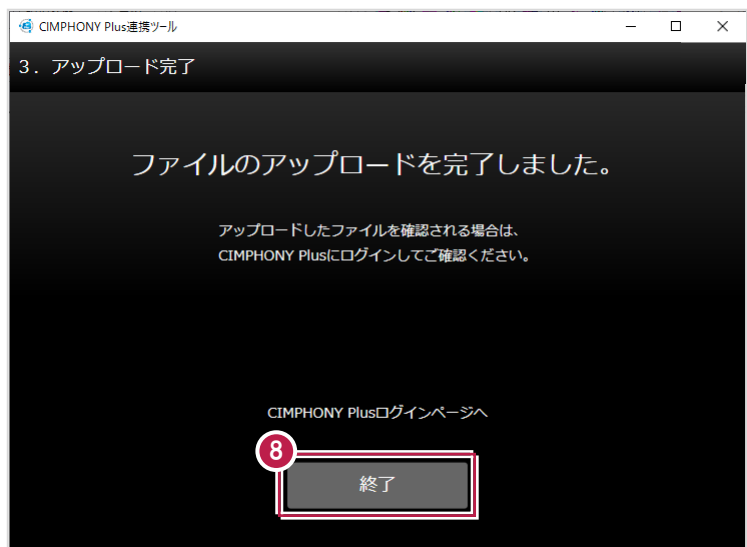
6 アップロードするファイルの [ファイル名] 等を設定します。

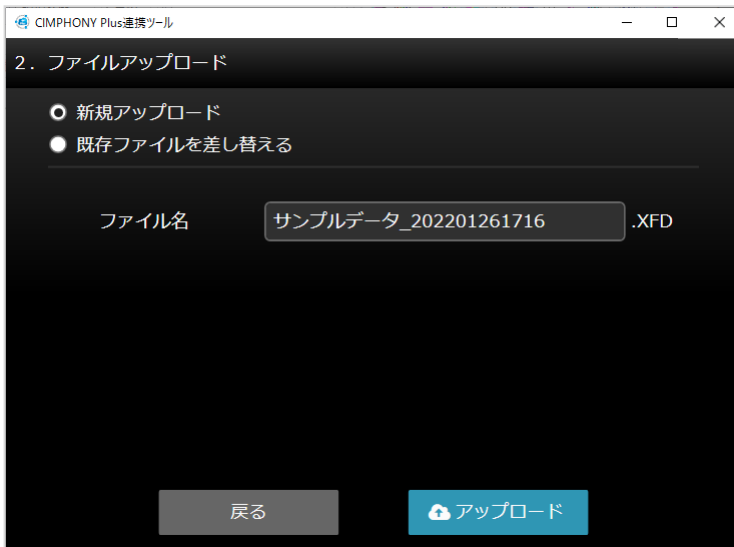
7 [アップロード] をクリックします。

データが転送されます。



8 [終了] をクリックします。





【新規アップロード】：新規ファイルをアップロードする場合に選択します。

【既存ファイルを差し替える】：既存のファイルを差し替える場合に選択します。

【ファイル名】：ファイル名が自動で入力されます。

ファイル名を変更したい場合は、入力し直してください。

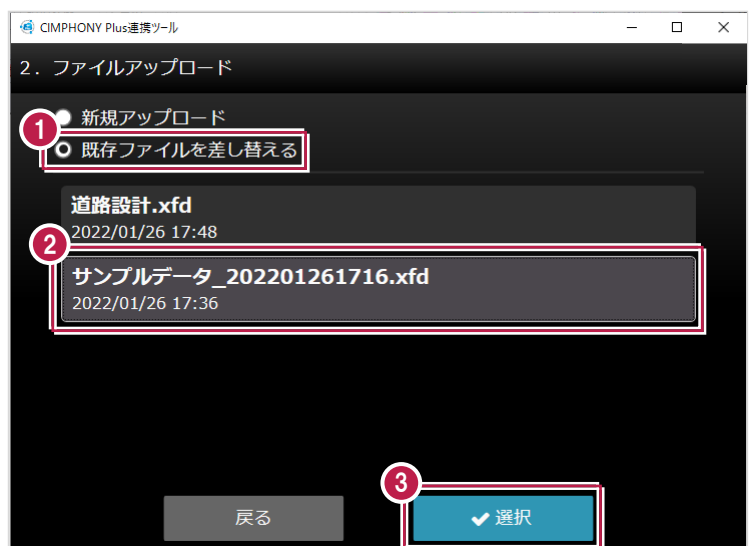
※登録済みの他のファイルと同じ名称でアップロードすることはできません。

※以下の文字は使用できません。

¥/:*?"<>|

■ 既存ファイルを差し替える手順

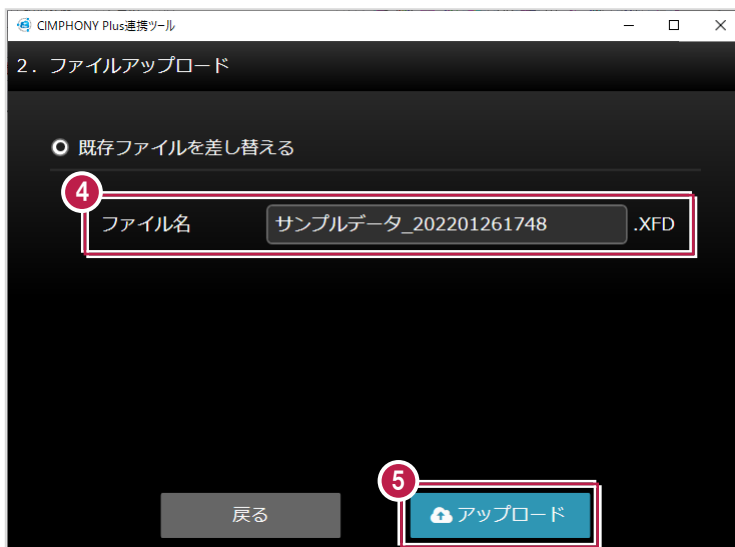
- 1 [既存ファイルを差し替える] を選択します。
- 2 差し替えるファイルを選択します。
- 3 [選択] をクリックします。



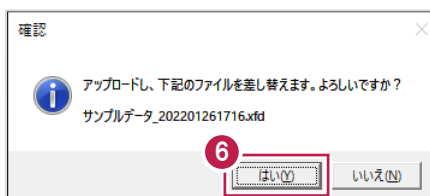
(次ページへ続きます)

4 [ファイル名] を設定します。

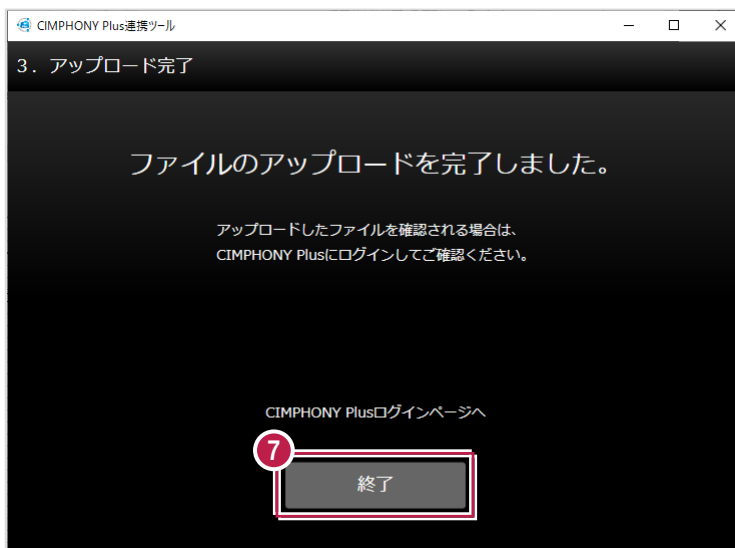
5 [アップロード] をクリックします。



6 [はい] をクリックします。



7 [終了] をクリックします。



アップロードしたデータの格納場所

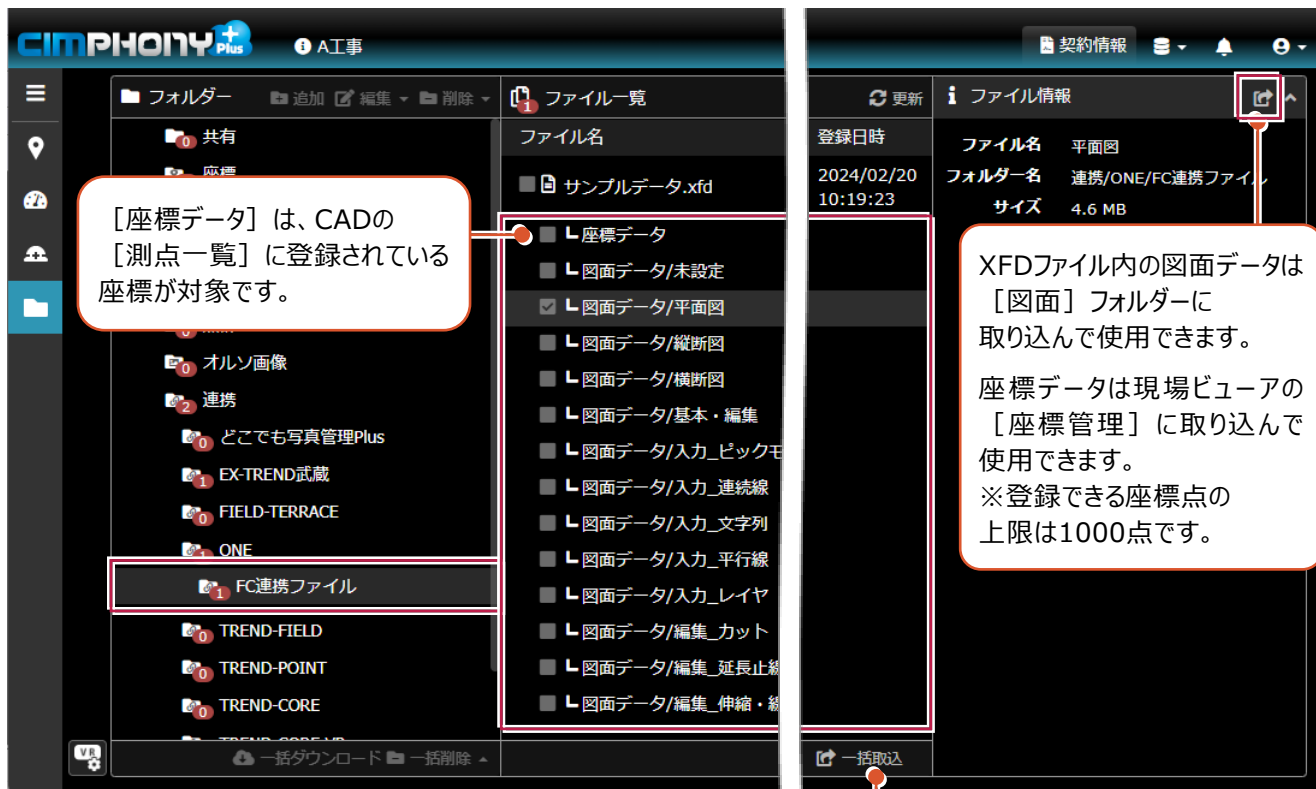
アップロードしたデータはCIMPHONY Plus [ファイル管理] の以下のフォルダーに格納されます。



アップロードしたデータを CIMPHONY Plus で使用する

CIMPHONY Plusに登録されたXFDファイル内の図面データは、[図面] フォルダに取り込んで使用できます。また、座標データは現場ビューアの[座標管理]に取り込んで使用できます。

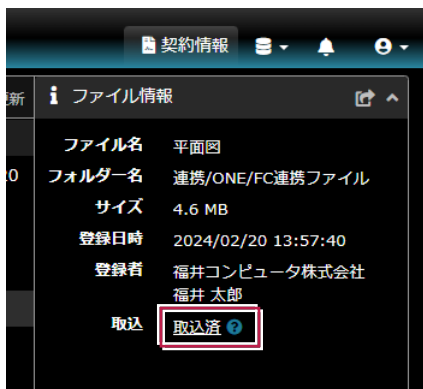
※取り込み時の設定については、CIMPHONY Plusヘルプ「ファイルを追加する」の「図面ファイルを追加する」、および「【作成者】座標点を配置する」を参照してください。



複数ファイルを選択して、[一括取込]することもできます。取り込み後、各フォルダや[座標管理]でファイル情報や座標種別などを設定してください。

図面データを取り込み後、ファイル情報の[取込済]をクリックすると、取り込み先のフォルダへ移動できます。

座標データを取り込み後、現場ビューアの[座標管理]で[ファイル]をクリックすると、取り込み元のフォルダへ移動できます。



2

CIMPHONY Plus からダウンロード

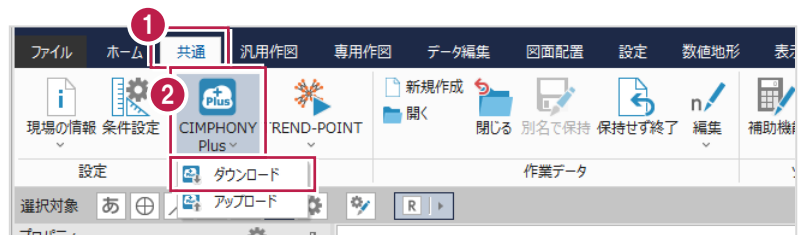
CIMPHONY Plusから弊社アプリケーション間の連携用ファイル（XFDファイル）や写真ファイルをダウンロードする操作を説明します。

※ダウンロードは全ユーザー（「所有者」「作成者」「参照者」）が可能です。

2-1 《CAD》 連携ファイルをダウンロードする

CIMPHONY Plusから図面・観測・リンク（写真・書類）・座標データ（XFDファイル）をダウンロードします。

① CADで [共通] タブをクリックします。



② [連携] グループ - [CIMPHONY Plus] - [ダウンロード] をクリックします。

③ 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

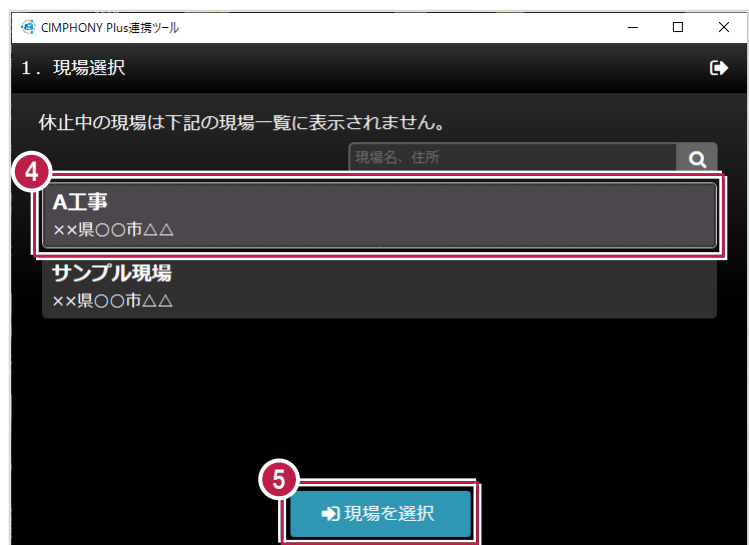
《参照》3-2.プロキシサーバー環境の場合



④ 現場を選択します。

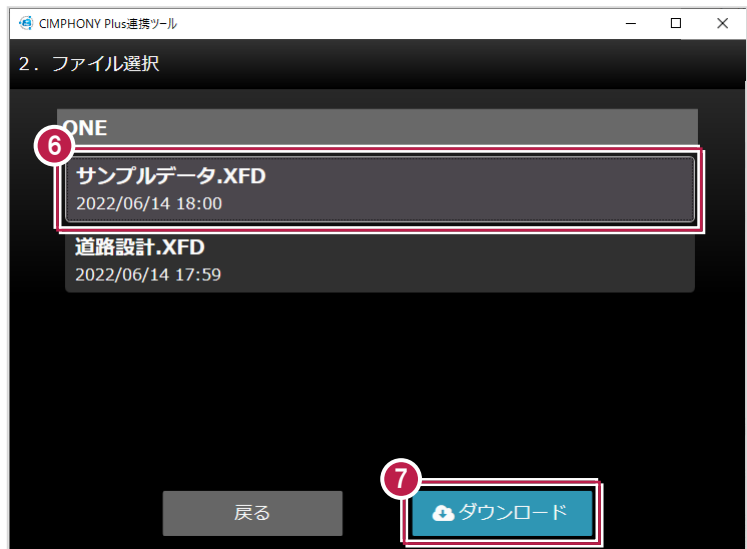
《参照》3-1.現場が表示されない場合

⑤ [現場を選択] をクリックします。

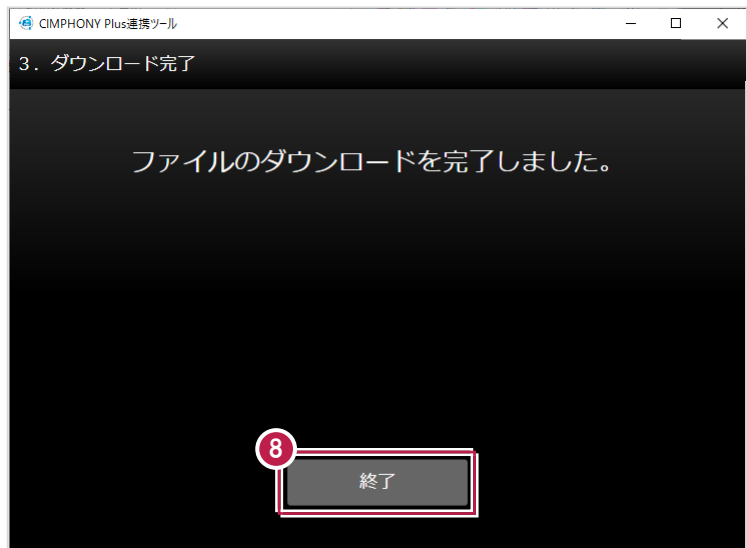


- ⑥ ファイルを選択します。
※ONE、TREND-FIELD、
EX-TREND 武蔵からアップロードした
XFD ファイルが表示されます。

- ⑦ [ダウンロード] をクリックします。

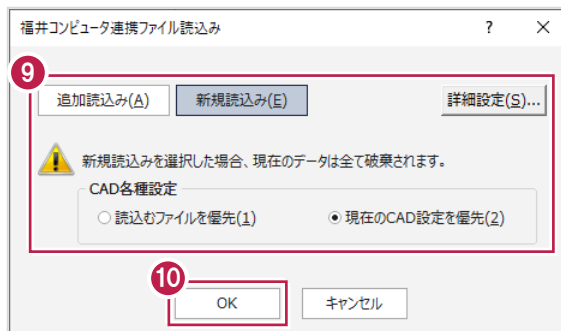


- ⑧ [終了] をクリックします。

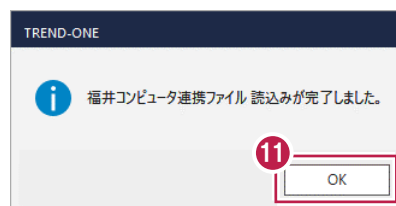


- ⑨ 読み込み方法を設定します。

- ⑩ [OK] をクリックします。

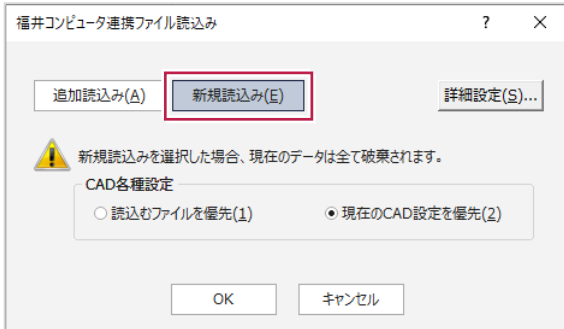


- ⑪ [OK] をクリックします。
データが取り込まれます。



読み込み方法について

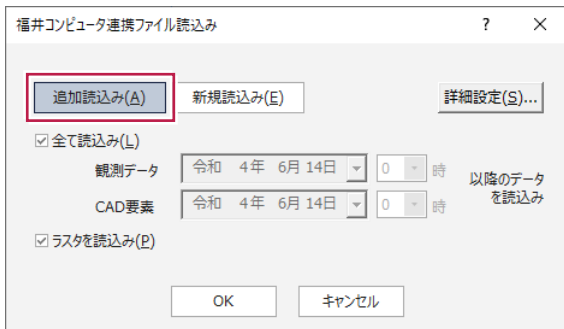
読み込み方法は【新規読み込み】 【追加読み込み】 から選択します。



【新規読み込み】：現在のデータを全て破棄して読み込みます。

【CAD各種設定】：読み込むファイルの設定を優先するか、現在のCAD設定を優先するか選択します。

【詳細設定】：観測点の登録設定を行います。
(下記説明参照)

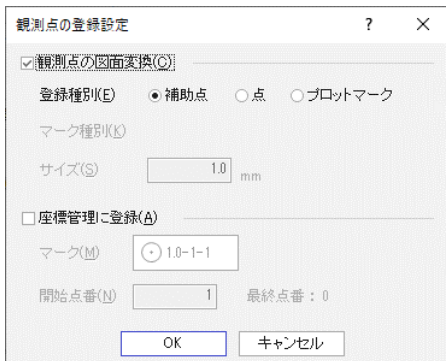


【追加読み込み】：現在のデータに追加して読み込みます。

【全て読み込み】：オンにすると、全てのデータを読み込みます。
オフにすると、指定した日時以降のデータを読み込みます。

【ラストを読み込み】：ラストを読み込む場合はオンにします。

【詳細設定】：観測点の登録設定を行います。
(下記説明参照)



【観測点の図面変換】：観測点を図面に変換する場合はオンにして、登録する観測点の種別を選択します。

[点] [プロットマーク] を選択した場合は、
[マーク種別] [サイズ]を設定します。

【座標管理に登録】：観測点を座標管理に登録する場合はオンにして、
[マーク] [開始点番]を設定します。

2-2 《CAD》 写真ファイルをダウンロードする

CIMPHONY Plusから写真ファイル（JPEG・TIFF形式）をダウンロードします。

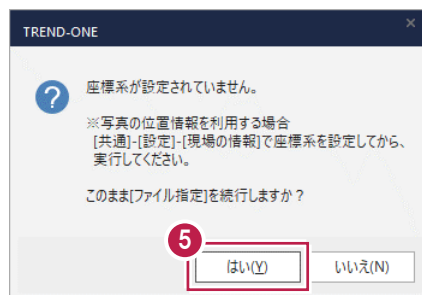
- 1 CADで [ホーム] タブをクリックします。
- 2 [汎用作図] グループ - [ラスタ・写真配置]
- [一括配置・位置図作成] をクリックします。



- 3 [取込み] を選択します。
- 4 [CIMPHONY Plus] をクリックします。



- 5 メッセージが表示された場合は、[はい] をクリックします。
※写真の位置情報を利用する場合は、
[いいえ] をクリックして座標系を設定してください。



- 6 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。
※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

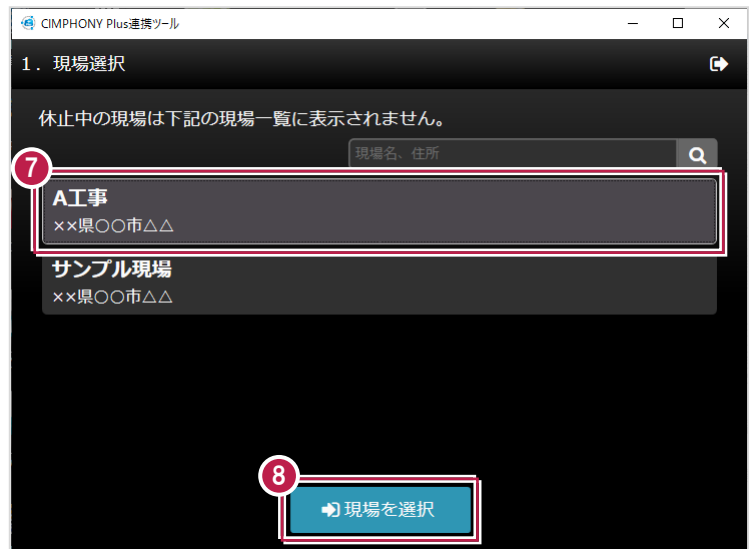
《参照》 3-2.プロキシサーバー
環境の場合



7 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

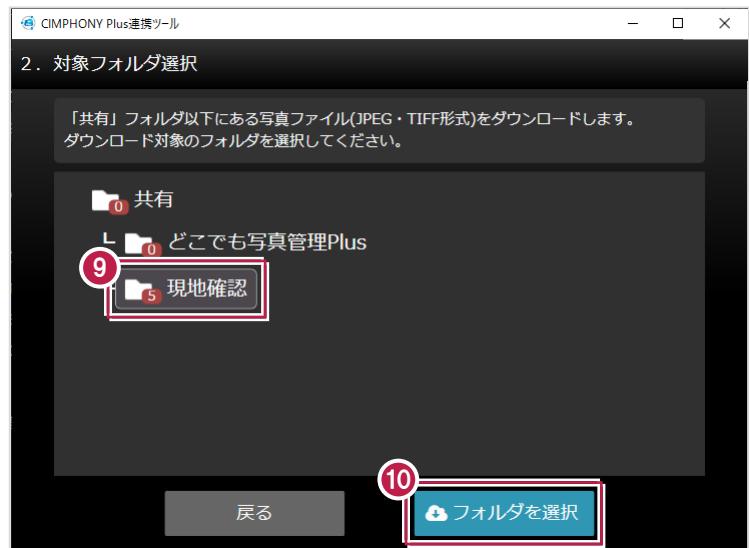
8 [現場を選択] をクリックします。



9 ダウンロード対象のフォルダを選択します。

10 [フォルダを選択] をクリックします。

《参照》3-3. アクセス制限が
設定されているフォルダの場合

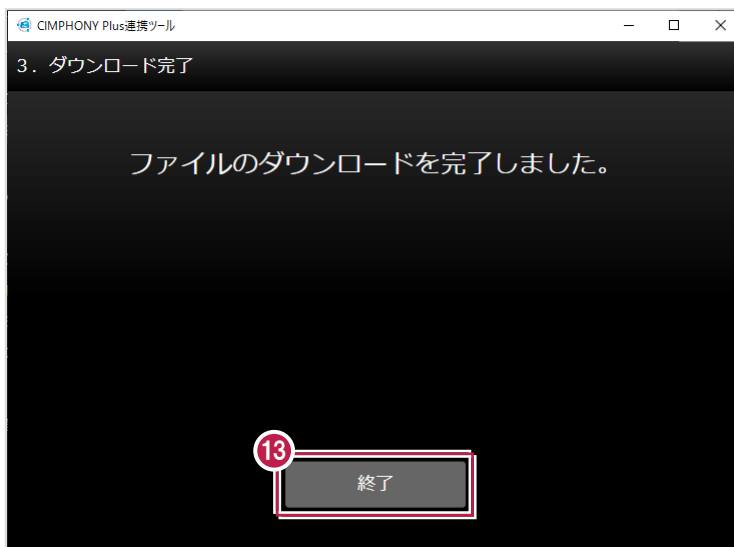


11 取り込む写真のチェックをオンにします。

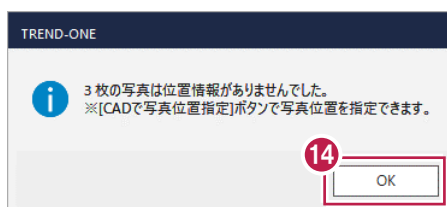
12 [確定] をクリックします。



13 [終了] をクリックします。



14 確認メッセージは [OK] をクリックします。
写真が取り込まれます。



座標系が設定されている現場に位置情報付き写真を取り込んだ場合は、CADにリンクマークが配置されます。リンクマークにマウスを合わせると、写真を確認できます。



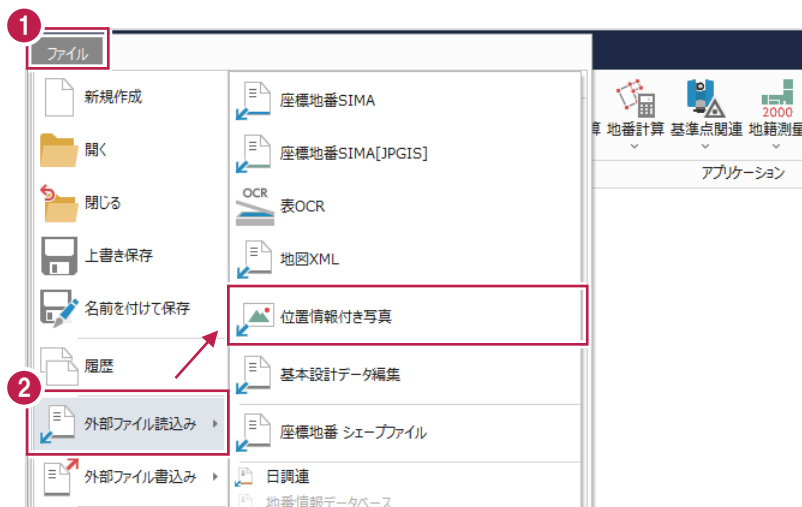
2-3 《メインメニュー》 位置情報付き写真をダウンロードする

CIMPHONY Plusから位置情報付き写真（JPEG・TIFF形式）をダウンロードします。

メインメニューの [共通] タブ - [設定] グループ - [現場の情報] - [現場の情報] で座標系を設定後に操作してください。

① メインメニューで [ファイル] をクリックします。

② [外部ファイル読み込み] -
[位置情報付き写真] をクリックします。



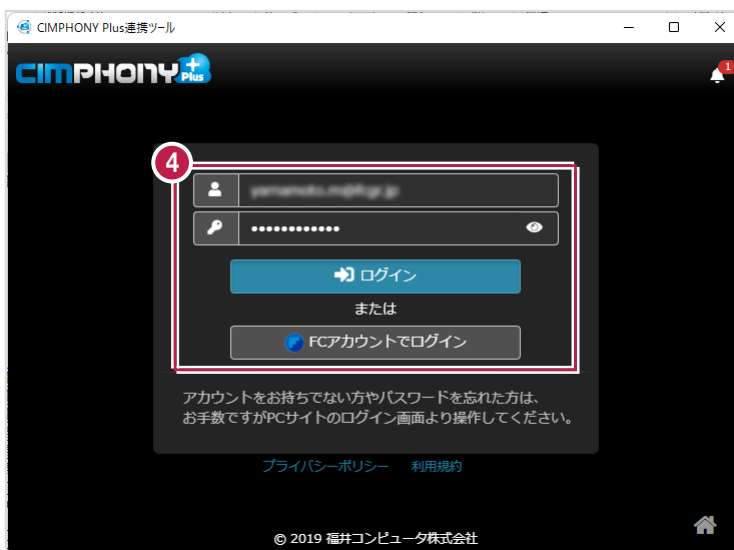
③ [CIMPHONY Plus] をクリックします。



④ 「メールアドレス」と「パスワード」、または
「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存
されます。

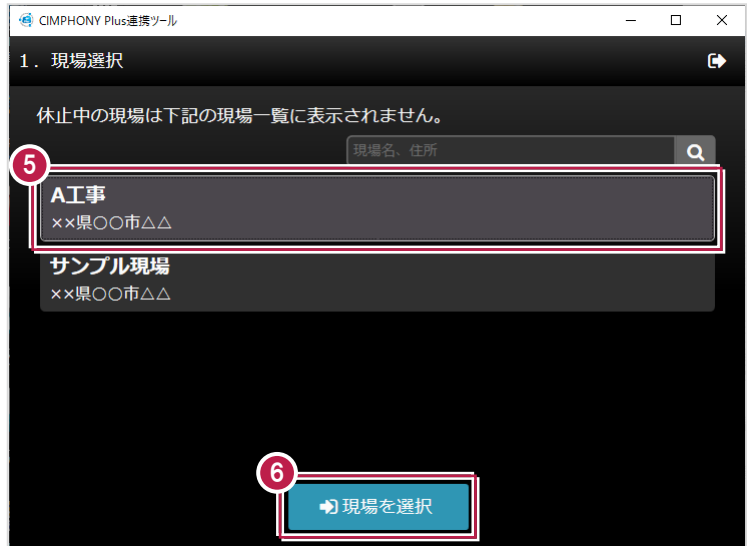
《参照》 3-2.プロキシサーバー
環境の場合



5 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

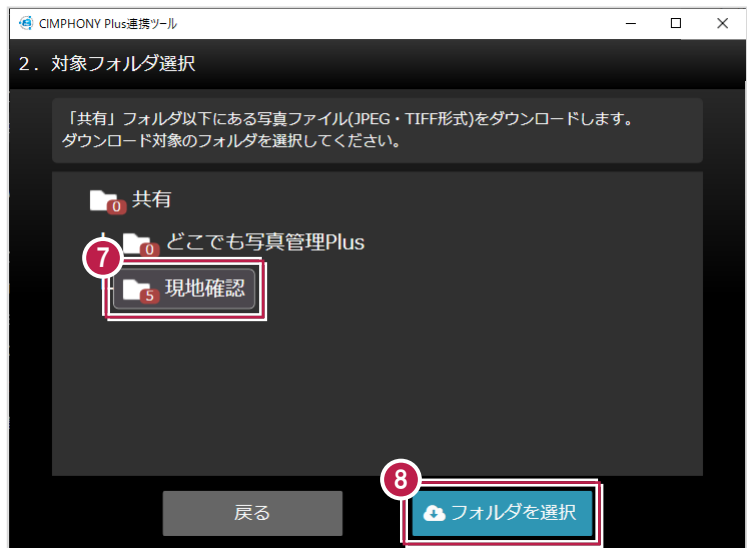
6 [現場を選択] をクリックします。



7 ダウンロード対象のフォルダを選択します。

8 [フォルダを選択] をクリックします。

《参照》3-3. アクセス制限が
設定されているフォルダの場合

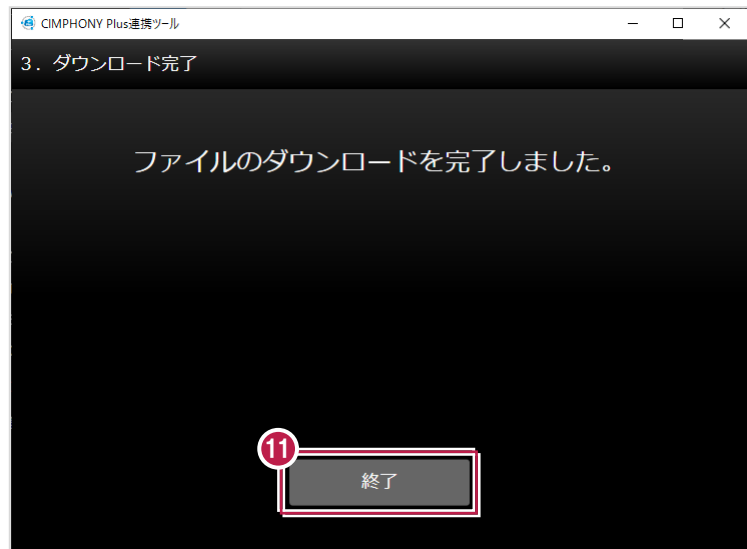


9 取り込む写真のチェックをオンにします。

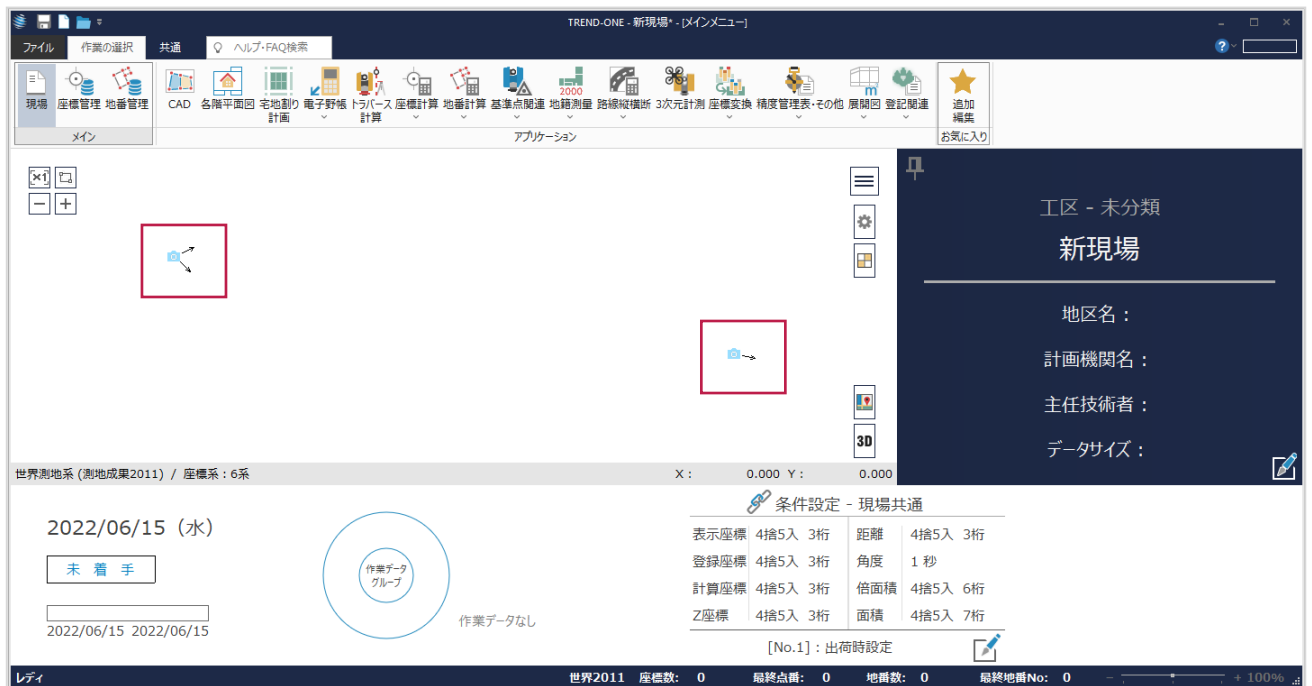
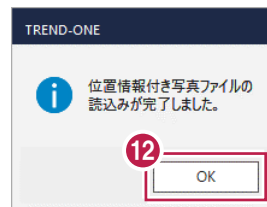
10 [確定] をクリックします。



11 [終了] をクリックします。



12 [OK] をクリックします。
写真が取り込まれます。



《座標管理》《地番管理》の現場プロットのメニューボタンから取り込むこともできます。



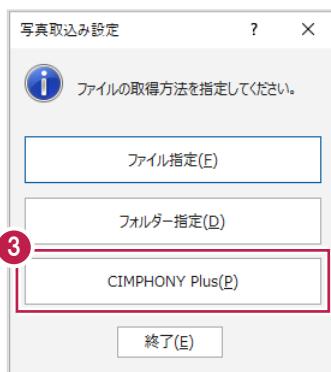
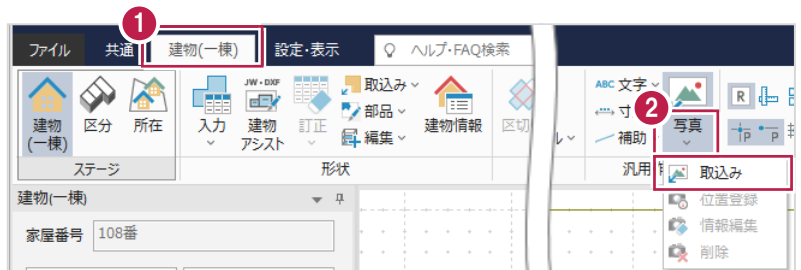
2-4 《各階平面図》 写真ファイルをダウンロードする

CIMPHONY Plusから写真ファイル（JPEG・TIFF形式）をダウンロードします。

① 各階平面図で [建物（一棟）] タブ（または [区分] タブ、[所在] タブ）をクリックします。

② [汎用作図] グループ - [写真] - [取込み] をクリックします。

③ [CIMPHONY Plus] をクリックします。



④ 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

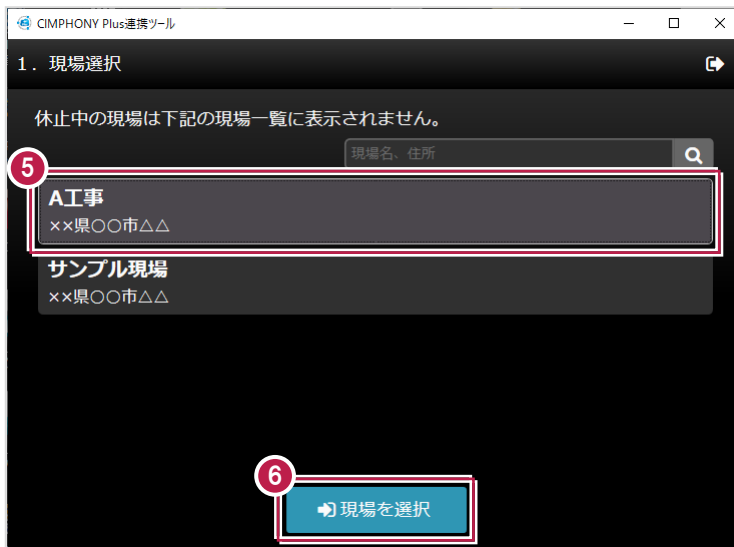
《参照》3-2.プロキシサーバー環境の場合



5 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない場合

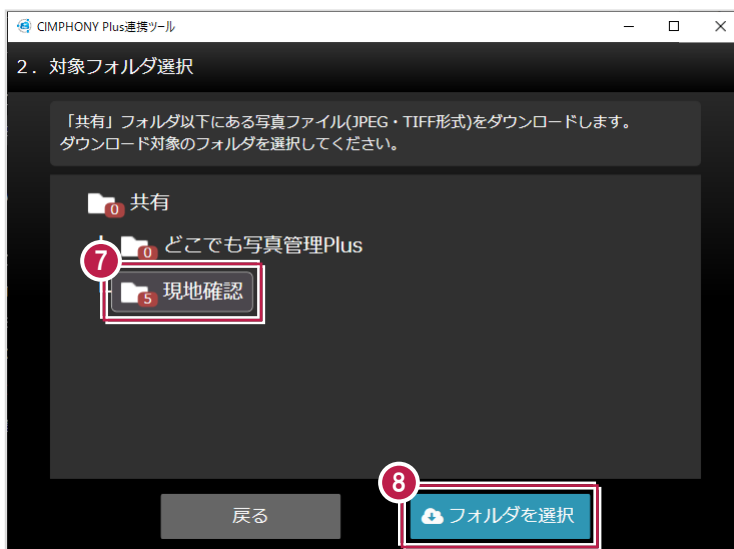
6 [現場を選択] をクリックします。



7 ダウンロード対象のフォルダを選択します。

8 [フォルダを選択] をクリックします。

《参照》3-3. アクセス制限が設定されているフォルダの場合

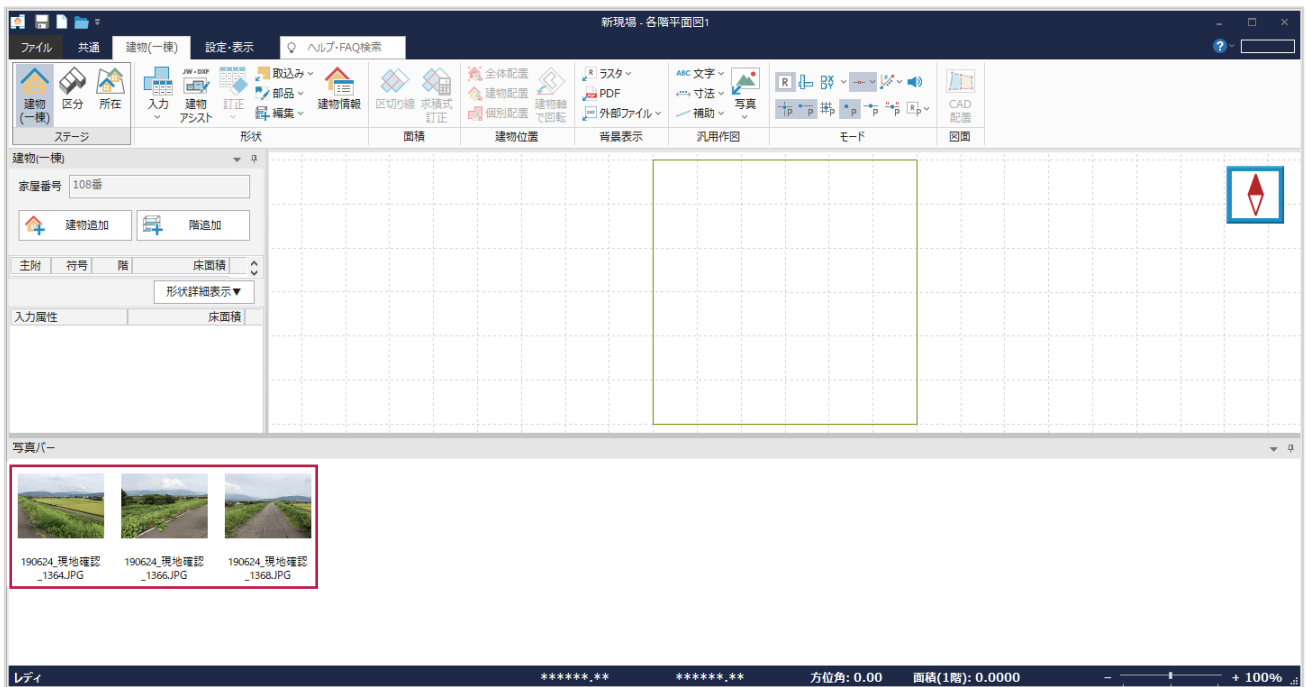
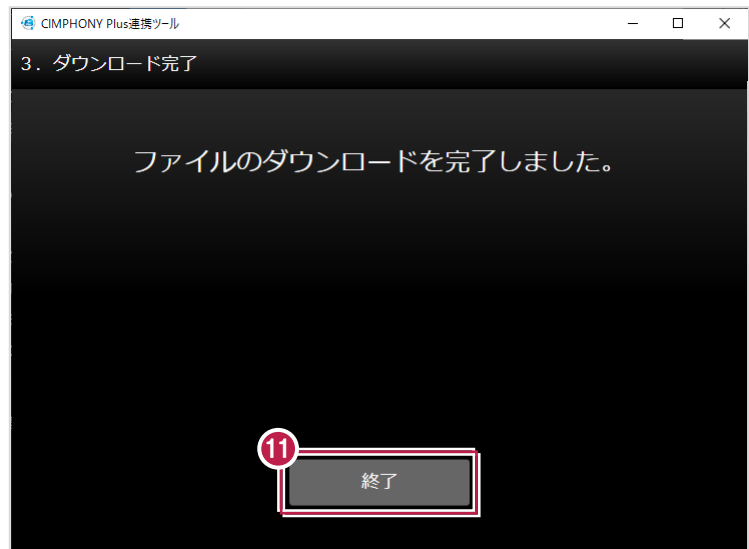


9 取り込む写真のチェックをオンにします。

10 [確定] をクリックします。



- 11 [終了] をクリックします。
写真が取り込まれます。



2-5 《電子野帳取込》 観測データをダウンロードする

CIMPHONY Plusから観測データ（XFDファイル）をダウンロードします。

- 1 電子野帳取込で [手簿データ] ステージの [手簿データ] タブをクリックします。
- 2 [データ読み込み] グループ [CIMPHONY Plus 連携] をクリックします。



- 3 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。
※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

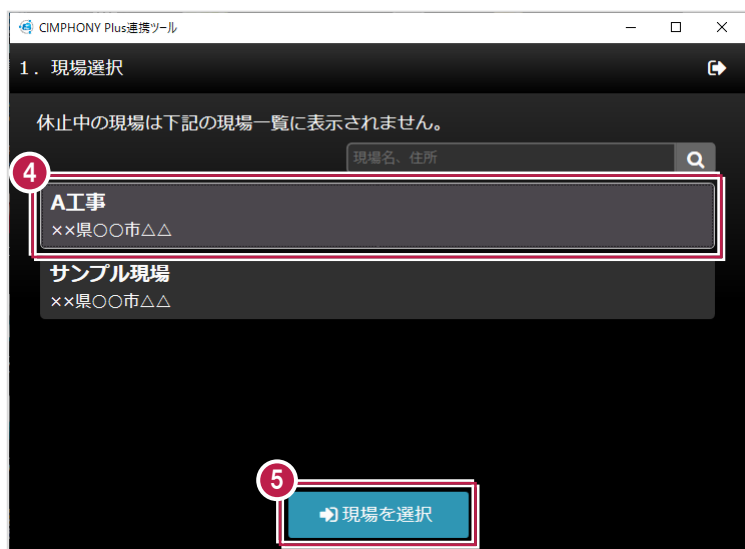
《参照》3-2.プロキシサーバー
環境の場合



- 4 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

- 5 [現場を選択] をクリックします。



⑥ ファイルを選択します。
※ONE、TREND-FIELD からアップロードした
XFD ファイルが表示されます。

⑦ [ダウンロード] をクリックします。



⑧ [終了] をクリックします。



⑨ 読み込み方法を設定します。

オンにすると、全ての観測データを
読み込みます。
オフにすると、指定した日時以降の
観測データを読み込みます。



⑩ [OK] をクリックします。
データが取り込まれます。

電子野帳取込起動時の取込みガイド作業
選択ダイアログから取り込むこともできます。



2-6 《縦横断測量》《河川定期縦横断測量》 縦断観測データをダウンロードする

CIMPHONY Plusから縦断観測データ（XFDファイル）をダウンロードします。

ここでは、縦横断測量の画面で説明します。

河川定期縦横断測量も同様に操作してください。

- 1 縦横断測量で「縦断野帳」ステージの「縦断野帳」タブをクリックします。
- 2 「データ読み込み」グループ「CIMPHONY Plus 連携」をクリックします。



- 3 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。
※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

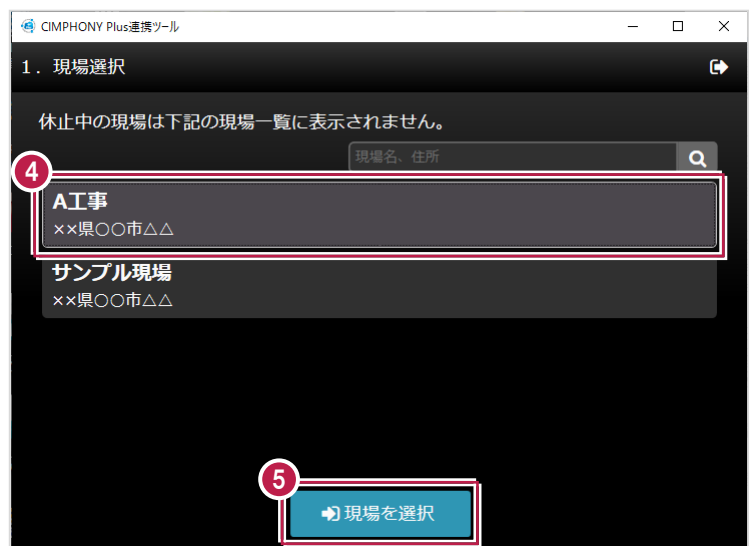
《参照》3-2.プロキシサーバー
環境の場合



- 4 現場を選択します。

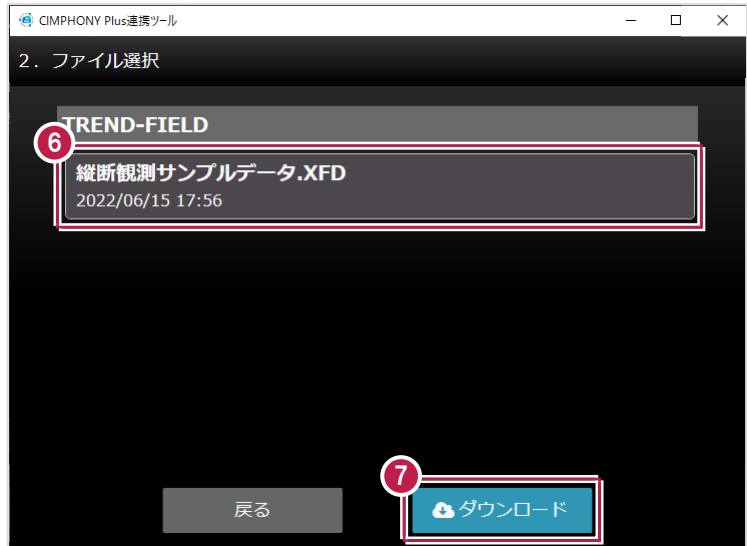
《参照》3-1.現場が表示されない
場合

- 5 「現場を選択」をクリックします。

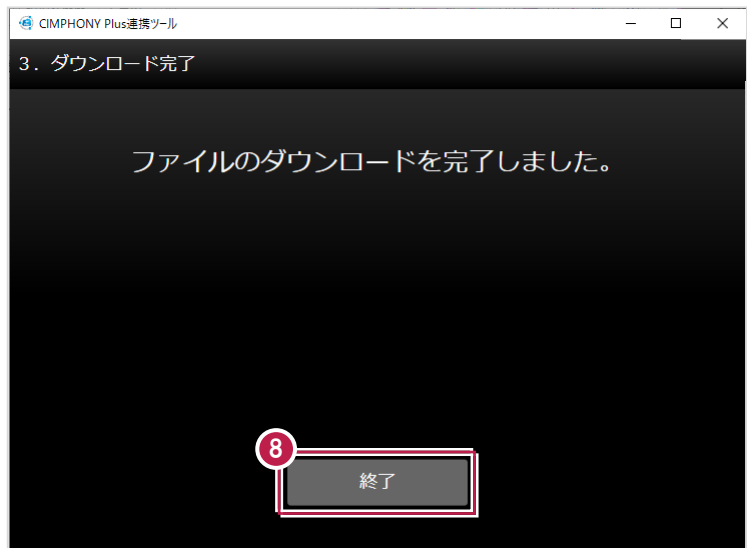


- ⑥ ファイルを選択します。
※TREND-FIELD からアップロードした
XFD ファイルが表示されます。

- ⑦ [ダウンロード] をクリックします。



- ⑧ [終了] をクリックします。

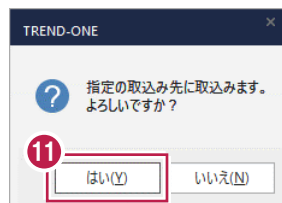


- ⑨ 取り込む縦断観測データを設定します。
※ダイアログの詳細はヘルプを参照してください。

- ⑩ [OK] をクリックします。



- ⑪ [[はい] をクリックします。
データが取り込まれます。



2-7 《縦横断測量》《河川定期縦横断測量》 横断観測データをダウンロードする

CIMPHONY Plusから横断観測データ（XFDファイル）をダウンロードします。

ここでは、縦横断測量の画面で説明します。

河川定期縦横断測量も同様に操作してください。

- 1 縦横断測量で [横断野帳] ステージの [横断野帳] タブをクリックします。
- 2 [データ読み込み] グループ [CIMPHONY Plus 連携] をクリックします。



- 3 「メールアドレス」と「パスワード」、または「FC アカウント」でログインします。
※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

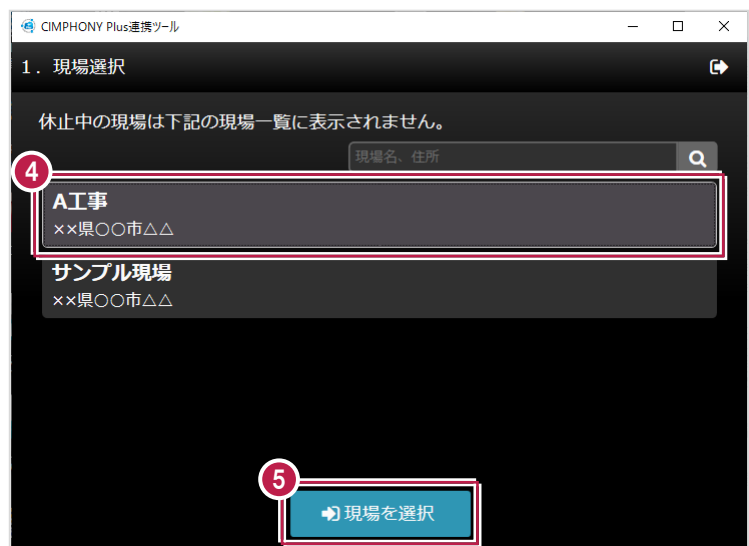
《参照》3-2.プロキシサーバー
環境の場合



- 4 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

- 5 [現場を選択] をクリックします。

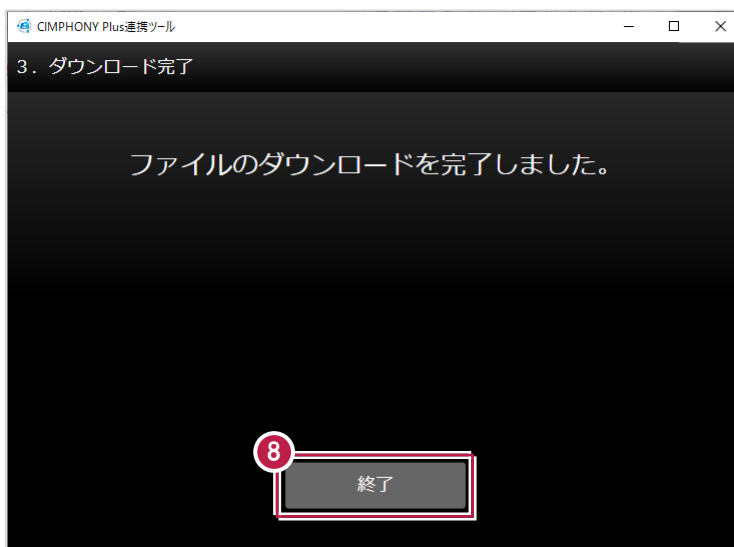


- ⑥ ファイルを選択します。
 ※TREND-FIELD からアップロードした
 XFD ファイルが表示されます。

- ⑦ [ダウンロード] をクリックします。

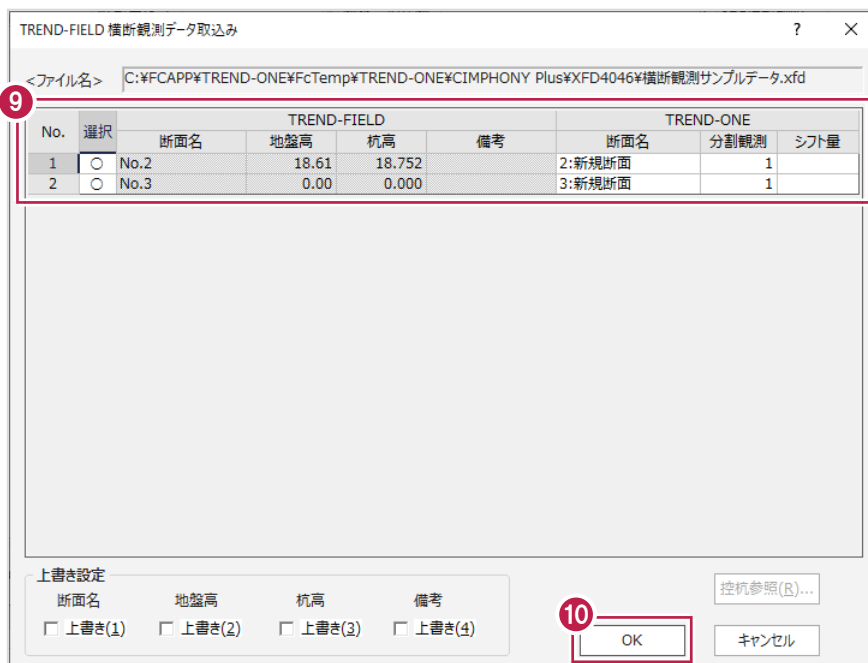


- ⑧ [終了] をクリックします。



- ⑨ 取り込む横断観測データを設定します。
 ※ダイアログの詳細はヘルプを参照して
 ください。

- ⑩ [OK] をクリックします。
 データが取り込まれます。



2-8 《3次元計測》設計データ（三角網）をダウンロードする

CIMPHONY Plusから設計データ（三角網）（XFDファイル）をダウンロードします。

ここでは、3次元計測（UAV）の画面で説明します。

3次元計測（ULS）も同様に操作してください。

- 1 3次元計測（UAV）で
[標定点・検証点配置計画] ステージの
[標定点・検証点配置計画] タブをクリック
します。

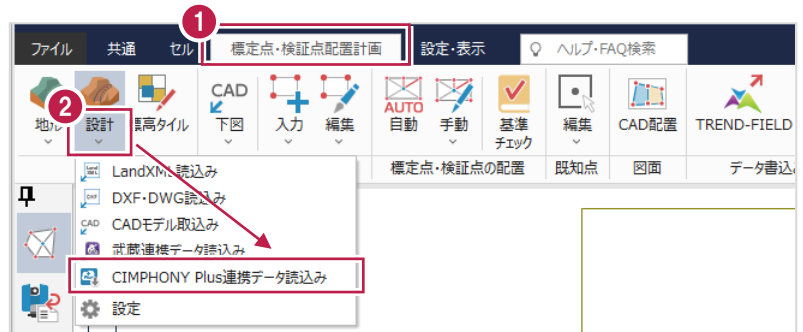
※3次元計測（ULS）の場合
[調整点配置計画] ステージの
[調整点配置計画] タブ

- 2 [標高設定] グループ - [設計] -
[CIMPHONY Plus 連携データ読み込み] を
クリックします。

- 3 「メールアドレス」と「パスワード」、または
「FC アカウント」でログインします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存
されます。

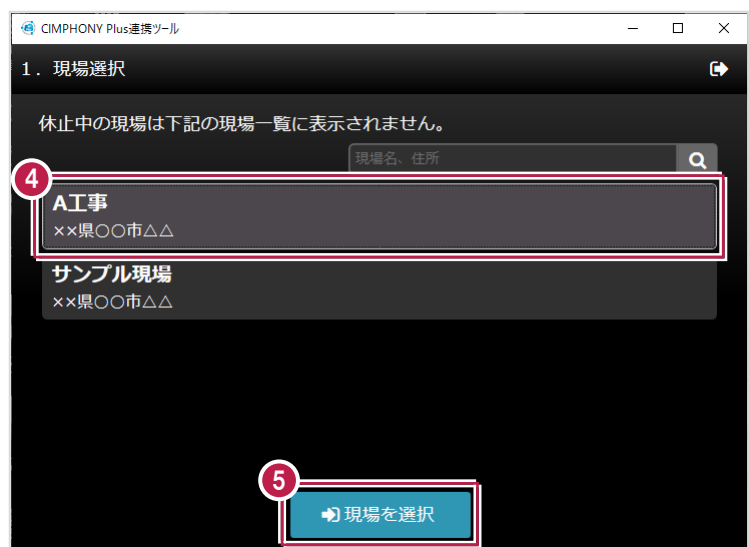
《参照》3-2.プロキシサーバー
環境の場合



- 4 現場を選択します。

《参照》3-1.現場が表示されない
場合

- 5 [現場を選択] をクリックします。

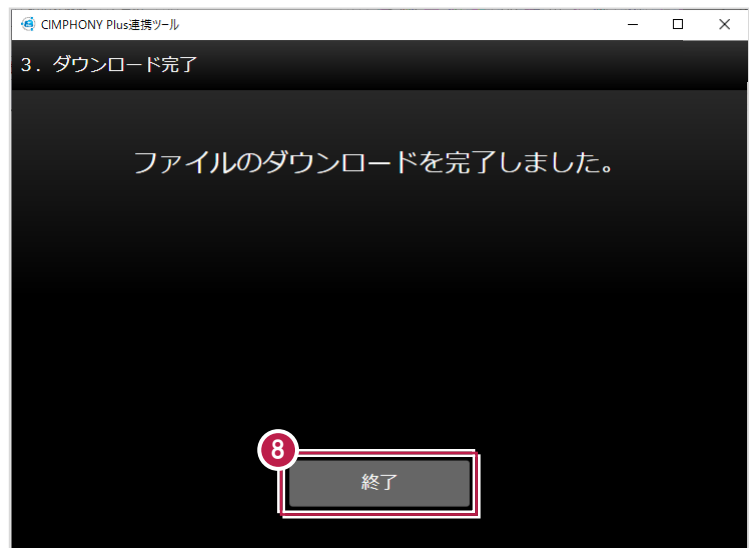


6 ファイルを選択します。
※EX-TREND 武蔵からアップロードした
XFD ファイルが表示されます。

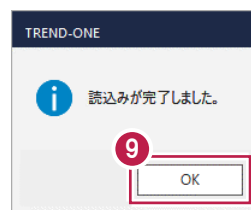
7 [ダウンロード] をクリックします。



8 [終了] をクリックします。



9 [OK] をクリックします。
データが取り込まれます。



3次元計測 (UAV) 、
3次元計測 (ULS) 起動時の
作業案内ダイアログから取り込む
こともできます。



3

注意事項

CIMPHONY Plus連携についての注意事項を説明します。

3-1 現場が表示されない場合

アップロード/ダウンロード時に使用したい現場が表示されない場合は、以下を確認してください。



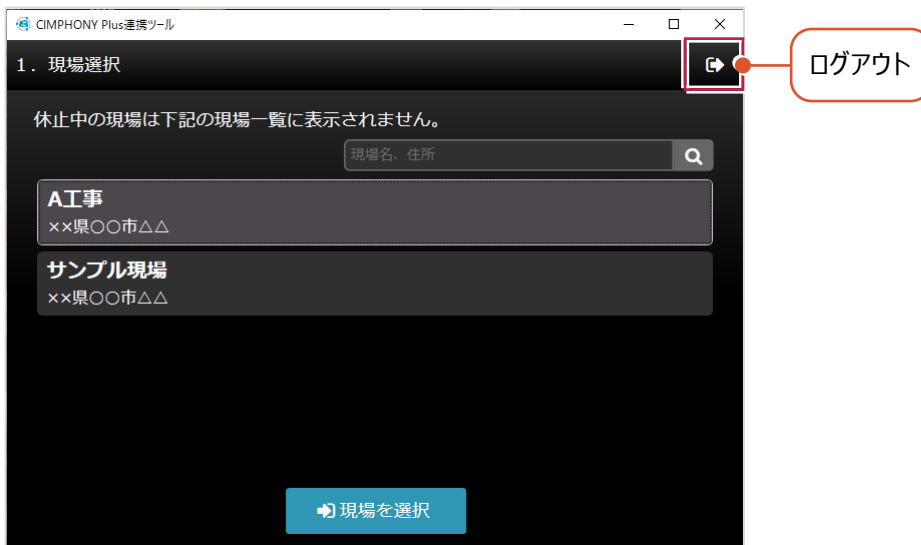
■ アップロード/ダウンロード共通

● ログインしているユーザーは、現場に招待されたユーザーですか？

現場に招待されていないユーザーの場合、現場一覧に表示されません。

「CIMPHONY Plus連携ツール」に自動ログインしている場合は、別のユーザーでログインしている可能性があります。

一度ログアウトして、正しいユーザーで再ログインしてください。



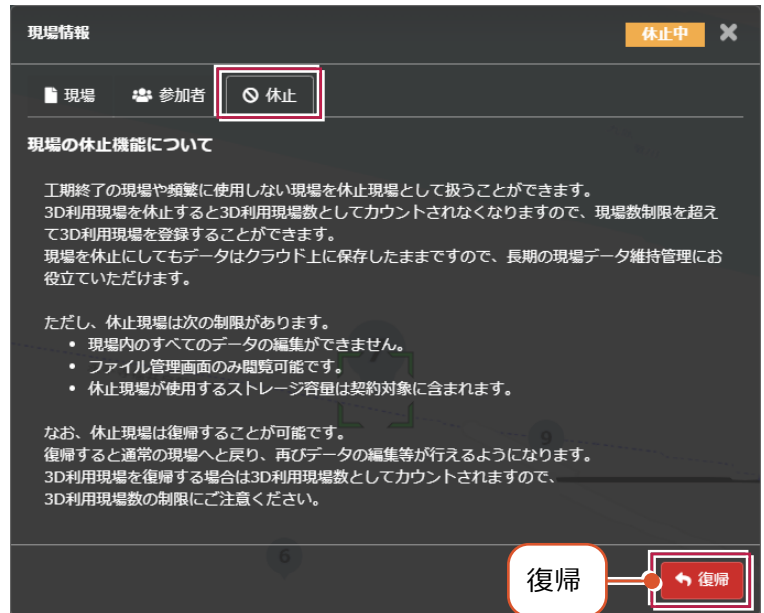
●「休止中」の現場ではありませんか？

現場一覧に表示されるのは「工期前」「工期中」「終了」の現場のみです。

WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインし、[休止中のみ] をオンにして確認してください。

必要であれば「現場情報」の[休止] タブで現場を復帰してください。

([復帰] は「所有者」のユーザーのみ可能)



■ アップロード時のみ

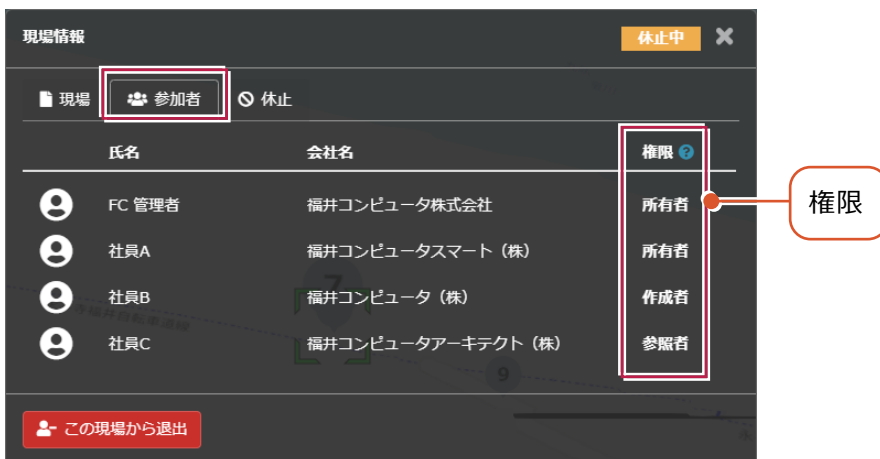
●ログインしているユーザーは「参照者」ではありませんか？

アップロードは「所有者」または「作成者」のユーザーのみ行えます。

「参照者」のユーザーはアップロードできません。

WEBブラウザでCIMPHONY Plusにログインして、「現場情報」の[参加者] タブで[権限]を確認してください。

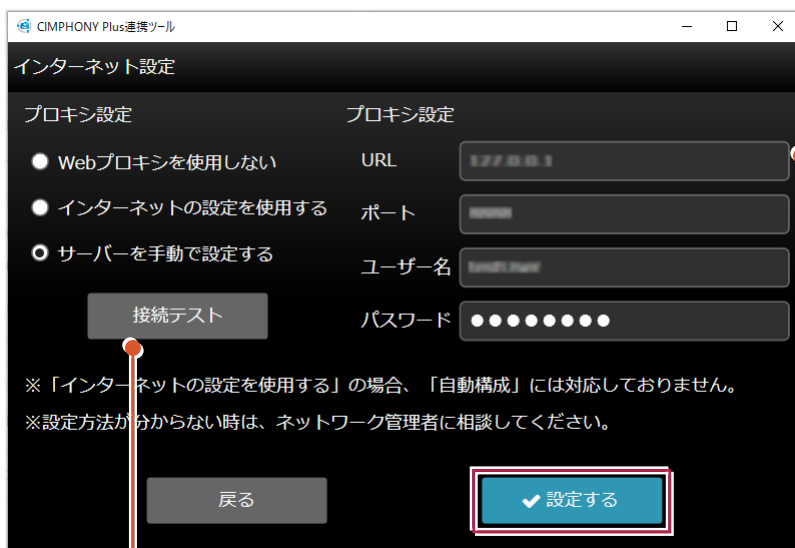
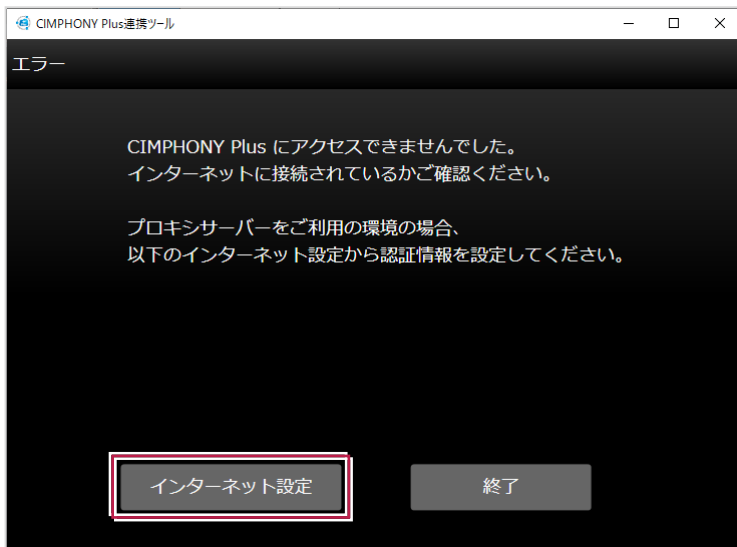
必要であれば「所有者」のユーザーに、権限の変更を依頼してください。



※ダウンロードは、招待されている全ユーザー（「所有者」「作成者」「参照者」）が可能です。

3-2 プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



[サーバーを手動で設定する] を選択した場合は、認証情報を入力してください。

[接続テスト] をクリックすると、接続可能か確認できます。



3-3 アクセス制限が設定されているフォルダーの場合

ファイル管理の〔編集〕－〔アクセス制限〕でアクセス制限が設定されたフォルダーは、許可された参加者以外には表示されません。

・フォルダーにアクセス制限を設定できるのは、「所有者」と「作成者」です。

・「所有者」は、必ずアクセス可能です。

・アクセス制限を設定可能なフォルダーは、〔共有〕フォルダー以下にあるフォルダーです。

ただし、〔どこでも写真管理Plus〕フォルダーと遠隔臨場の機器から動画ファイルをダウンロードした際にできるフォルダーは、アクセス制限を設定できません。

